

大里の空から

令和5年11月21日発行

第8号

文責：校長 阿部浩幸

授業参観・ありがとうございました！ 「大里魂」の継承です！

11月18日の授業参観には、多くの方にご来校していただきました。本当にありがとうございました。子どもたちの成長を感じていただけたことと思います。

そして、今年度も高学年児童による創作劇「大里城物語」、全校合奏「丹波たて山わらし太鼓」も、授業参観にあわせて発表しました。どちらも地域に支えられた本校の大切な宝です。保護者の方々や地域の方々と、この宝を共有できたこと、うれしく思います。

さて、「大里城物語」では、劇の最後に「大里魂」という言葉が出てきました。大里城籠城戦は「強大な伊達軍から城を守ることを目的として、個々が目的達成のために力を尽くした」という史実です。「大里魂」には「集団で目的を共有し、目的達成のために個々が力を尽くす」という意味が含まれていると思います。

「大里城物語」に取り組んだ5・6学年児童は、劇を完成させるために全員が力を発揮しました。一人一人が集団の目標達成に向かって頑張りました。「丹波たて山わらし太鼓」に取り組んだ全児童も、より良い表現を目指して、一人一人が全力で取り組みました。一人一人が集団の目標達成のために精一杯の努力をしました。

「大里魂」が、大里ならではの活動を通して、子どもたちに継承されています。



ご協力・ご理解ありがとうございました！

10月29日(日)の天栄村文化祭では大変お世話になりました。

本校の発表を見た天栄幼稚園長が、「1・2年生の子どもたちの成長に驚きました。ダンスのキビキビした動き、手に持った棒からでる『シャッ・シャッ』という音の美しさにとっても感動しました。」と高く評価してくださいました。本校の「丹波たて山わらし太鼓」を地域の方々や、他校の関係者に見ていただけたことで、子どもたちも更に「丹波」に誇りをもつことができました。



また、天栄米「大里城物語」は短時間で完売となり、今年も「幻の米」となりました。販売に向けて工夫や努力をしてきた子どもたちも、満足感でいっぱいです。

急な授業日の変更にもかかわらず、深いご理解と多大なご協力をいただいたことに、心から感謝いたします。